Ｎｏ．１

阪神医療生活協同組合

発行日
平成２８年１１月１０日

むげんニュース

つながる　つなげる　ひびきあう

★むげんプロジェクトがスタートしました★

阪神医療生活協同組合は２０２０年に５０周年を迎えます。
改めて５０周年に向けて、組合員の声を広く聞き、協同で夢を「かたち」にするために“むげんプロジェクト”が始まりました。組合員と共に「夢」を「実現」するための“夢現”生協である限り、組合員と対話し続けると言う“無限”の思いが、このプロジェクトには込められています。次年度方針にも活かすため今年度中に、延べ**２０００人**の組合員の声を聞くことを目標にむげん会議を開催しています。
一人でも多くの声を聞かせて下さい。
そして、夢を協同の力で実現させましょう。

～むげんニュースで、各支部のむげん会議の近況を随時、皆さんにお伝えしていきます～

むげん会議の様子

全支部が集まってのむげん会議も開催していきます。

各支部でむげん会議が開催されています。むげん会議の対話を広げていくことは、生協の協同を広げていくことです。開催のカタチは様々…。皆さん、各支部でのむげん会議に是非参加してくださいね。

第１回　むげんだい会議開催

９月２４日園田地区会館で、組合員・職員１０４人が集い、「おせっかいな街づくり」をテーマに話し合いました。
おせっかいな街は“支えあいの街”。「医療生協の組合員はおせっかいのプロ」と言う発言がありましたが、その組合員一人ひとりが小さなおせっかいをし合うと、どんな地域になるでしょうか。
一歩前に、お互い様で協同しあえる街を、地域でつなげ、次世代にもつなげ…私たち協同の力で夢を紡いでいきましょう。

むげん会議開催!!
（１０月３１日現在）
★延べ723人達成
★全支部77回開催

私たち組合員の声を「カタチ」に。

110人／15回 常光寺支部

手すりを設置しました

1．高齢者が利用しやすい第一診療所にしたい。

建物が老朽化しヒビが入り、屋上からは雨漏りもします。入口も、診療所内のエレベーターへ抜ける防火扉もとにかく重い。

★建物修繕や建設などを考えた積立増資を考えていきたい！！
（8月より積み立て増資が開始されました。）
安全に利用できるために手すりも設置しました。

2．物忘れが気になる人への対応。

支部サークルのメンバーで、物忘れが気になる人がいます。メンバーが順番に声をかけあってサークルに誘っていますが、このような人は今後増え個人の課題だけではなくなると言う意見が出ました。

高齢者が安心して利用できる診療所、地域で支えあえる仕組みをつくるために、どんな工夫ができるのか、もっとたくさんのご意見聞かせてください。

★私たち地域でできることは、サークルなど顔なじみになった人同士声かけを行い支えあうこと。
話相手など、動ける内は何か役に立ちたいと思っている人もたくさんいます。
また、有償ボランティアなど仕組みづくりや、サービスの利用したくない人もいるけど、医療生協の医療・介護専門職と連携しながら、地域で見守りを続けていくことは大切です。

長洲支部 142人／16回

長洲支部事業所
まるわかり見学会の様子

1．入院時の不安（高齢者で思っている方は多い）の解消。

医療生協でどの様なサービスが受けられるのかわからない…などの意見も出ました。

★医生協診療所が入院できることを伝えました。
また、組合員さんに事業の内容について触れてもらう機会が少ないと言うことで、10月27日に「長洲支部事業所まるわかり見学会」を開催することになりました。今後も、参加者の意見を元に継続して、地域組合員の皆さんにによる取組みを検討いきたいと思います。

2．地域の居場所づくり・地域グループをつくりたい。

高齢者の参加する場や助け合いにつながるのが地域グループです。地域グループのようなつながりを、みんなで運営しつくりたいなどの意見が出ました。

★地域グループづくりを前に進めようと、11月17日に「地域グループづくり研修会」を開催することにりました。

小中島支部

110人／11回

1．むげん会議をひろげたい。

組合員の声をもっともっと聞かせてほしい！！そして、一緒に今できることを楽しく協同していきたい！！

★各サークル参加者対象のむげん会議や誰でも出入り自由のむげん会議を開催しています。
これまで出た様々な課題に対して、どんなことをすればいいか知恵を出し合っています。

もっと沢山の組合員の声を聞かせてもらい、対話をしていきたいと思っています。むげん会議は交流の場でワイワイ楽しくどこでも開催できます。
是非口コミで広げてください。

むげん会議の様子

2．自分たちで出来そうなこと。

出た意見の中で、すぐできそうなことをピックアップしています。

★「診療所のお花のボランティアグループをつくろう」
１２月支部ニュースで呼びかけることになりました。
★「男の料理教室をしよう」
★「生協のマナビ場をつくろう」
生協って余りわからない、なんで組合員になるの？
初歩の初歩から生協を知れる学びの場を企画予定です。支部を超え、また、先輩世代から若者へ生協の魅力をひきついでいきたいと思っています。

お花ボランティア募集します

園田支部

106人／12回

1．身近な組合員の声を実現しました。

①番号札があれば、待ち時間が分かりやすいのにという意見が出ました。
★10月から番号札をつくりました。

番号札作りました

②接遇にもっと力を入れてはと意見を頂きました。
★接遇向上委員会をつくり、標語や読み合わせなどで意識を高めています。

③待合室が狭いという意見がでました。
★第三診療所の3階に待合いスペースをつくりました。自動販売機があり、ゆっくりくつろげます。午後の診察のない時間帯を組合員活動スペースとして、ぜひ皆さん活用してください。

④田能などにバスが来ればと意見がありました。
★現在は小中島と園田を結ぶ無料の巡回バスを月水木の午後に運行しています。利用される方が多ければ田能に行くバスも検討します。

サークルでむげん会議を開催してみてわかりました。ごく一部の組合員さんとしか対話していなかったことに…。もっとむげん会議したいです！！

その他、お泊りデイサービスや予約制などの意見も頂いておりますので、より多くの組合員さんの声を聴き、対話をしながら実現に向けて取り組んでいきます。

わかくさ支部　113人／20回

１．活動の場所について。

　様々な活動するためにもう少し広い場所があれば良いな。もっと皆さんが参加できる場所が欲しいな、と言う意見がたくさん出ました。
その他、卓球、ストレッチ体操、将棋クラブ、発声練習などなど、趣味や楽しみを通じてつながりたいと言う意見も聞かれました。既存の、歩こう会や食事会にも感謝ています。

★町会の老人の集いにも場所を貸して欲しいと言う意見もありますが、ふれ愛ひろばの使用規約を作ることになりました。広い活動場所については検討中ですが、地域でより多くの方が集える居場所として、地域グループをたくさん作っていきたいと思っています。
定年した組合員の方の活躍の場、お年寄りが楽しめる場など、ふれあいの時間を地域で持てるように、もっともっと、良い活動を皆さんとつくっていきたいと思います！！

３．出資金の取り組みについて。

　たとえ1000円でも増資する体制を作って欲しい、積み立て増資しますと言う意見が出ました。

★支部ニュースでも呼びかけを行い、
積立増資に２０名近くの方が賛同されています。

買い物に行って欲しい…などなど、具体的なお困りごとの声も聞かせていただきました。地域のつながりの中で、助け合える仕組みはつくれないか、一緒に考えていきたいと思うので、そのような声もどんどん聞かせて下さい。

2016年6月26日の総代会で、阪神医療生活協同組合は地域の組合員と協同で安心して暮らせる地域づくりを目指すことを宣言しました。地域住民の声をたくさん聴き、対話を続けることで、地域で本当に何が必要でどうしたら良いのかという答えがあると分かったからです。そして、それこそが生活協同組合の存在意義です。
　ようやく協同の取り組みを始めたばかりで、様々な不手際もありますが、試行錯誤しながらも、地域のつながりを大切にして皆さんと共に歩んでいきたいと思います。　今後も共よろしくお願い致します。

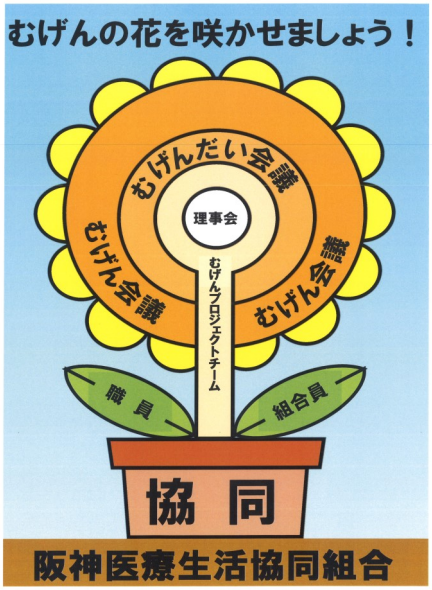
（専務理事　蓮見克也）

第2回　むげんだい会議のご案内

★日時：１１月２６日（土）
１４：００～１６：３０

★場所：小田公民館ホール

　各支部のむげん会議でどんな対話がなされているのか報告します。その中で、支部だけで対応できないことについても５支部で協同の知恵を出し合えたらと思います。



阪神医療生活協同組合は、協同組合ならではの協同の取組みで、地域を住みやすくしていきます。

発行：阪神医療生活協同組合　地域活動サポートセンター　〒６６１－０９７２　尼崎市小中島３－１３－１６
TEL　０６－６４９１－８８２２　Fax　０６－６４９４－８３９５